

第 83 期中間報告書

証券コード 6246

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

Contents

■ Top Message	1~2
■ 事業の概況	3~4
■ 事業紹介	5~6
■ 業績の概況	7~8
■ 株式の状況	9
■ 会社概要	10

株式会社 テクノスマート

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第83期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国経済では穏やかな景気の拡大が続きましたが、欧州での英国のEU離脱を巡る不確実性や、中国経済の下振れ懸念など、先行き不透明な状況で推移いたしました。国内経済は、世界経済の不安定な状況を背景に円高が進行し、個人消費の低迷や輸出企業の採算の悪化などにより、回復基調が足踏みし、停滞感が続きました。

このような状況下において、光学系フィルム業界では、新規投資を進める企業と規模の縮小や委託加工に方向を替える企業など二極化が進んでいるようです。当社においては、スマートフォン、タブレット端末用として光学フィルムやタッチパネル用塗工装置、医療材用塗工乾燥装置、自動車用リチウムイオン二次電池や他のエネルギー関連および電子部品関連塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。その結果、国内および中国における光学系フィルム塗工装置業界および自動車用リチウムイオン二次電池業界で

は、大型設備投資を行う企業が現われはじめ、受注環境に変化の兆しが見られました。

昨年同期と比較し、売上高、営業利益、当期純利益、および受注高ならびに受注残高も増加いたしました。個別の受注金額につきましては、中国市場など新興国を最終需要先とした国内企業をはじめ、中国や韓国企業向けでも、国内外の設備メーカーの価格競争は大変厳しいものとなっております。しかしながら、最近の中国における液晶パネルの大幅増産の見通しにより、光学フィルム関連塗工装置の需要が見込まれ、当業界向けの受注活動の強化に努めたいと考えております。また、光学フィルム関連と合わせて、車載用リチウムイオン二次電池や燃料電池などのエネルギー関連業界に対し、更なる販売強化に取り組みたいと考えております。

株主の皆様方におかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成28年12月

Changing Life with Coating Technology

「塗工技術で生活に変化を」

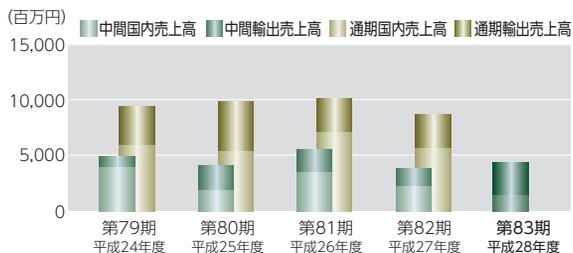
私たち「株式会社テクノスマート」は、「塗工」・「乾燥」で世界の人々に貢献できる企業を目指します。

代表取締役社長

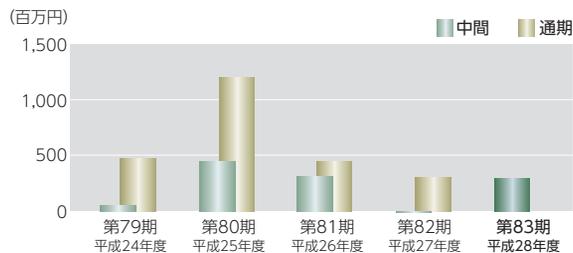
高橋 進



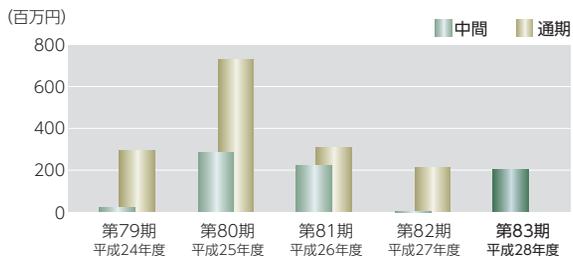
国内売上高・輸出売上高



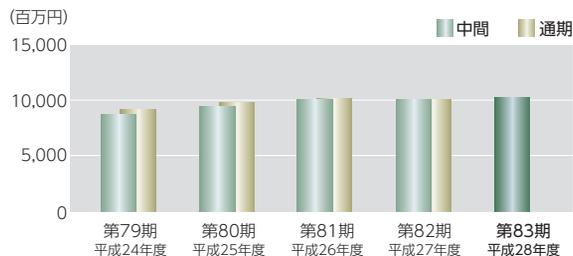
営業利益



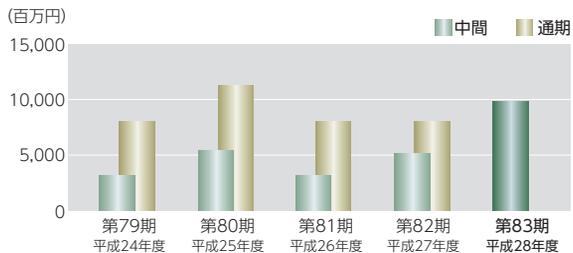
当期純利益



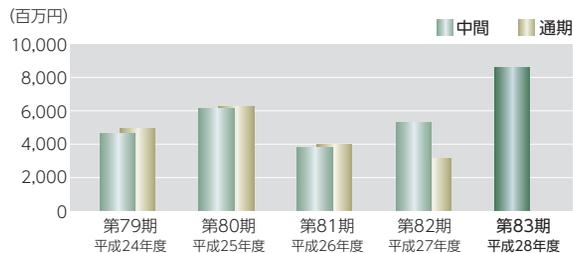
純資産額



受注高



受注残高



平成29年3月期 業績予想

売上高 **11,000** 百万円

営業利益

600 百万円

当期純利益

400 百万円

これからも生産技術の ベストソリューションを 提案してまいります。

産業社会の発展に伴う多種多様なニーズに対し、営業、実験・開発、設計、製造グループといった総合的なサポート体制で臨み、着実に成長を遂げてまいりました。

〔経営理念〕

誠実

真心をこめて一流の製品を作り、お客様様の発展を地域への貢献ならびに我々社員の幸せの為に献身しよう。

行動

全社員の英知と総力を結集し世界的な会社の創造に邁進しよう。

転回

常に開拓者精神を培い、いかなる時勢の試練にも冷静かつ進取不屈の精神で事業永遠の繁栄に努力しよう。

経営理念

環境理念

独自理念

〔環境理念〕

地球環境の保全が将来にわたり重要な課題であることを認識し、企業活動のあらゆる側面において社員一人一人が、環境汚染の予防、環境保全に配慮しながら事業活動を推進する。

基本方針

- 環境保全に関する意識向上を図る。
- 環境保全活動の目的・目標を定める。
- 環境関連法規法令及び当社に関連するその他の要求事項を遵守する。
- 環境マネジメントの維持向上を図る。
- 環境保全のために地域社会に貢献する。
- 環境理念と基本方針は全社員が周知徹底し、必要に応じて社外にも公表する。

〔独自理念〕

理想的なコーティングラインのために

テクノスマートは独自の理念「C-5」を提案します。

当社は最高の品質をお客様にご提供するため、独自の理念「C-5」を掲げ製品開発に取り組んでいます。

これらの理念どれもモノづくりには欠かせないという認識のもと、すべての製品に対しテクノスマートの知恵と情熱が注がれているのです。

- ① クローズドタイプアプリケーションの採用
- ② クリーンルーム対応の設備
- ③ コンパクト設計
- ④ カセットチェンジコーターの採用
- ⑤ コンピューターシステムの導入

スマートフォンやタブレット端末用として光学フィルム関連塗工装置ならびにタッチパネル用塗工装置が伸長。

薄型表示部品関連機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置および関連する乾燥・熱処理装置。



売上高比率
16.0%

エネルギー関連機器

二次電池用塗工装置および関連する乾燥・熱処理装置。塗工機以外の二次電池用製造装置および関連機器。



売上高比率
49.0%

機能性紙・フィルム関連塗工機器

一般産業資材用の紙・フィルム用塗工装置および関連する乾燥熱処理装置。



売上高比率
12.4%

化工機器

高機能性繊維・不織布関連の製造装置および乾燥・熱処理装置ならびに関連する付属機器。ポリマー樹脂等化工品の乾燥・熱処理装置。各種エンブレフィルム用製膜関連製造装置。



売上高比率
11.3%

電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置および関連する乾燥・熱処理装置。



売上高比率
2.8%

その他

各種関連機器の部品製造ならびに改造・修理。



売上高比率
8.5%

「Techno Smart Series」のご紹介

塗工・乾燥装置を標準化することで製品開発から量産までの期間短縮ができるようになりました。

塗工乾燥装置の標準化「Techno Smart Series」

高精度コーター



高精度モーター、特殊カップリング高精度軸受の採用。

VCDコーター



低速～高速まで幅広い塗工速度範囲に適合。

CEDコーター



高品位塗工に対応クローズドコーティングシステム。

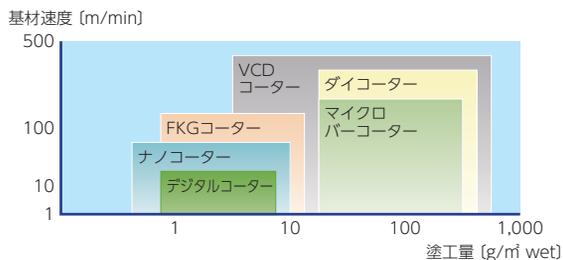
FKGコーター



版目の転写がない。ロール、ドクターブレード交換が容易。



カセットチェンジ方式で容易に塗工方式の変更が可能



ナノコーター



優れた薄膜塗工性能。スジムラがない。容易なロッド交換方式。

多層ダイコーター



多段化したスロットル構造により単層～多層の同時塗工を実現。

デジタルコーター



WET10 μ m以下の薄膜塗工。複雑な任意パターン塗工。

スマートラボ



研究、試作用途に対応した設置場所を選ばないコンパクト設計。

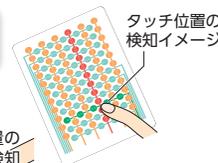
タッチパネル、二次電池のご紹介

タッチパネルのご紹介

ハードコートフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。



指先が触れた時に電極の変化をX軸・Y軸の電極列から知ることによって位置を把握できます。



タッチ位置の検知イメージ

ITO層
電気を通す透明な薄膜。真空中で金属を高温加熱し、蒸着により、電気を通す膜をつくる。

ハードコートフィルム (表面保護)
繰り返し使用しても傷が入りにくく、透明度が高く表面を保護している。

偏光板・ITO層ハードコートフィルム・IM (インデックスマッチング) フィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

- **偏光板 (偏光フィルム)**
特定の振動方向の光だけを通過させ、他の光を遮断させる。
- **ITO層ハードコートフィルム**
タッチパネル操作には欠かせないフィルムで、透明で電気を通す性能を持つフィルムです。
- **IMフィルム**
ITOパターンの視認性を低減する機能を持ち、タッチパネル画面を見やすくする機能があります。反射防止機能を持つものもあります。

タブレット端末



- ▼使用箇所
- ハードコートフィルム
 - 偏光フィルム
 - 反射防止フィルム

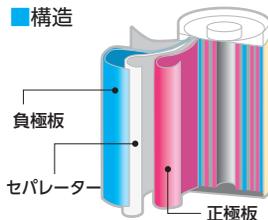
スマートフォン



- ▼使用箇所
- ハードコートフィルム
 - 偏光フィルム
 - 反射防止フィルム
 - フレキシブルプリント基板

二次電池のご紹介

構造



二次電池とは、充電式電池ともいい、電気を蓄えて繰り返し使用することができます。

二次電池

- ▼使用箇所
- 正極板
 - 負極板
 - セパレーター



主な分類

	ニッケル水素電池	リチウム・イオン電池
自然放電	少ない	非常に少ない
エネルギー密度	高い	非常に高い
コスト	安い	高い
主な用途	ハイブリッドカー 電動工具	ハイブリッドカー 電気自動車 パソコン・携帯電話

業績の概況

貸借対照表 (平成28年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	11,791,869
現金及び預金	6,553,277
受取手形及び売掛金	4,435,388
電子記録債権	404,249
たな卸資産	285,080
その他	113,874
固定資産	4,269,730
有形固定資産	3,095,261
建物	775,381
機械及び装置	207,911
土地	2,026,482
その他	85,486
無形固定資産	9,826
投資その他の資産	1,164,642
投資有価証券	980,916
その他	186,026
貸倒引当金	△ 2,300
資産合計	16,061,600

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	4,075,856
支払手形及び買掛金	2,288,226
電子記録債務	571,071
短期借入金	758,632
未払法人税等	113,953
前受金	129,622
引当金	123,909
その他	90,440
固定負債	1,651,128
長期借入金	587,594
退職給付引当金	554,623
資産除去債務	8,898
その他	500,013
負債合計	5,726,985
純資産の部	
株主資本	9,002,582
資本金	1,003,125
資本剰余金	515,858
利益剰余金	7,592,882
自己株式	△ 109,283
評価・換算差額等	1,332,031
その他有価証券評価差額金	227,592
土地再評価差額金	1,104,439
純資産合計	10,334,614
負債・純資産合計	16,061,600

■損益計算書 (平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額		金 額	
	前 中 間 期	構 成 比 (%)	当 中 間 期	構 成 比 (%)
売 上 高	3,856,113	100.0	4,427,906	100.0
売 上 原 価	3,560,043	92.3	3,781,923	85.4
売 上 総 利 益	296,069	7.7	645,982	14.6
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	314,007	8.1	343,007	7.7
営 業 利 益	△ 17,938	—	302,975	6.8
営 業 外 収 益	23,833	0.6	21,412	0.5
営 業 外 費 用	6,771	0.2	19,733	0.4
経 常 利 益	△ 876	—	304,654	6.9
特 別 利 益	—	—	735	0.0
特 別 損 失	—	—	4,400	0.1
税 引 前 四 半 期 純 利 益	△ 876	—	300,989	6.8
法 人 税 等	2,307	0.1	101,265	2.3
四 半 期 純 利 益	△ 3,184	—	199,724	4.5

■キャッシュ・フロー計算書 (平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

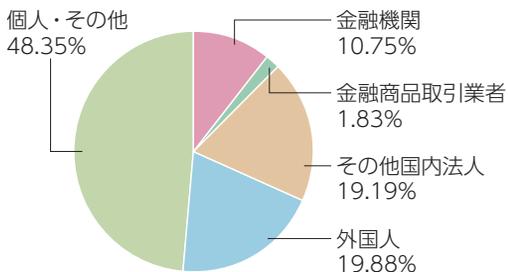
(単位：千円)

科 目	金 額	
	前 中 間 期	当 中 間 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,544,274	1,176,331
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,547	△ 183,509
財務活動によるキャッシュ・フロー	93,882	255,132
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	—
現金及び現金同等物の増減額	2,629,609	1,247,954
現金及び現金同等物の期首残高	2,169,266	5,205,322
現金及び現金同等物の期末残高	4,798,875	6,453,277

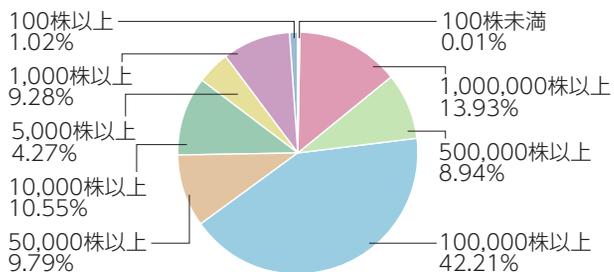
株式の状況 (平成28年9月30日現在)

■発行可能株式総数	25,000,000株
■発行済株式の総数	10,821,720株
■株主数	1,510名

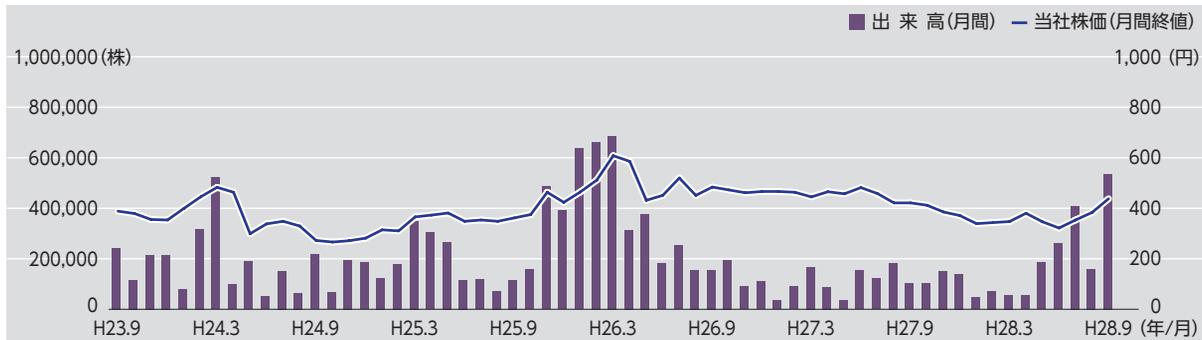
■所有者別株式分布



■所有数別株式分布



■当社株価と出来高



会社概要 (平成28年9月30日現在)

社 名 株式会社テクノスマート
創 業 1912年6月15日
資 本 金 10億312万円
本社所在地 〒541-0056
大阪市中央区久太郎町二丁目5番28号
久太郎町恒和ビル2階
電 話 06-6253-7200 (代)
従 業 員 数 247名
上場取引所 東京証券取引所 第2部
証 券 コー ド 6246
事 業 所 東京支店 (東京都中央区)
滋賀工場 (滋賀県野洲市)



大阪本社



東京支店



滋賀工場

■第7回 高機能フィルム展ーフィルムテックジャパンーへの出展

高機能フィルムの成形・加工技術からフィルムそのものに至るまで、様々なフィルムの加工機械および材料の総合展である「第7回 高機能フィルム展ーフィルムテックジャパンー」が2016年4月6日(水)から8日(金)までの3日間、東京ビッグサイトで開催され、当社も出展いたしました。当社は、パネル展示の他、3層同時塗工用ダイヘッドを展示し、新しい塗工プロセスの紹介を行いました。今回の展示会は昨年より多数の方が来場され、盛況な展示会となりました。今後もこのような展示会には積極的に出展し、当社の情報発信を行ってまいります。



■役員 (平成28年9月30日現在)

代表取締役社長 高橋 進
常務取締役 柳井正巳
取締役 杉野博昭
取締役 飯田陽弘
取締役 山田靖
取締役 (監査等委員) 桜井征三郎
取締役 (監査等委員) 矢井田修
取締役 (監査等委員) 波多江嘉度

■株主・投資家情報サイト

<http://www.technosmart.co.jp/investor>

■トップページ



当社ホームページではIR情報、製品情報など最新の情報がご覧いただけます。どうぞご利用ください。

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
*その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により行う
公告掲載アドレス：<http://www.technosmart.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〔郵便物送付先/各種お問合せ先〕
電話 0120-094-777 (通話料無料)
〔受付時間 9：00～17：00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。